

このまちの100年

「所沢」

所沢は中世に鎌倉街道が通るなど、古くから交通の要衝でした。鉄道開通後は、鉄道の要衝としても発展。また、日本初となる飛行場が造られ、日本の航空技術の発達にも貢献しています。戦後は多くのレジャー施設も誕生しました。



大正期の所沢の風景。電灯の供給が開始されており、通りには電柱が見える



大正後期

陸軍航空学校では将校及び下士官の教育が行われていた



昭和30年代

ヨーロッパの古城のようなデザインの山口貯水池の取水塔



昭和戦前期

行楽客誘致のため、村山下貯水池の堰堤北側に村山ホテルが開業した



昭和戦前期

山口貯水池の工事で掘り起こした土を盛り上げ、展望台として造られた狭山富士

上空からみた所沢エリア



昭和22年



昭和49年



平成19年

● : ねぎしの交差点 (通称) / ファルマン通り交差点 ● : 復興所沢車輛工場 / 西武鉄道所沢車輛工場 (～平成12年) ● : 所沢駅